

あいち病害虫情報 最新情報

平成24年9月14日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ミナミアオカメムシ

ダイズや水稻でミナミアオカメムシの発生量が多いほ場が増えてきました。ほ場間で発生量の差が大きいので、ほ場を見回り発生状況の把握に努めてください。本種による被害は今後も続くので、発生が見られるほ場では防除しましょう。

落葉果樹の病害虫

モモせん孔細菌病、ナシ黒星病やブドウべと病が多発しているほ場では、次作の伝染源を減らすため、秋季防除を徹底しましょう。特に、ナシ黒星病は県内各地域で発生が多かったので、必ず秋季防除を実施しましょう。

現在、フェロモントラップ及び予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、平年並の状況です。スギ・ヒノキ林の近くの果樹園では、台風通過後などに突発的に飛来が増加することがあります。園内をよく観察し、飛来を確認したら防除しましょう。

ダイズ、野菜類、花き類のチョウ目害虫

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数はおおむね平年並ですが、ダイズでは発生ほ場が増えてきています。防除対策などについては、9月3日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参考にしてください。

キャベツでは、ハイマダラノメイガによる被害がやや多い地域があります。育苗中や定植直後に食害されると被害が大きくなるので、防除に努めましょう。コナガの発生量は、現在のところ平年並です。

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数は、おおむね平年並に推移していますが、ダイズでは発生量が多いほ場を確認しています。キクでは、頂芽部や花蕾に食害が見られる場合は早急に防除しましょう。キャベツでは、結球部に食入すると防除が困難になるので、若齢幼虫の発生を確認したら防除を実施しましょう。防除対策などについては、9月3日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参考にしてください。

アブラナ科野菜の細菌性病害

軟腐病、黒斑細菌病、黒腐病などの細菌性病害は、台風などの風雨により発生が増加するので、登録のある農薬で防除しましょう。また、排水の悪いほ場では発生しやすいので、排水対策を十分に行ってください。

イチゴ炭疽病、萎黄病

両病害とも気温が高いと発生が助長されます。また、台風などの強い雨により、炭疽病の発生は増加します。今後の発生に注意してください。発病苗や発病が疑われる苗は定植しないようにするとともに、本ほ場で発生を確認したら速やかにほ場から持ち出し適切に処分しましょう。

トマト黄化葉巻病に注意！

トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介するタバコナジラミは、粘着板における誘殺数が田原市でやや多い状況です。タバコナジラミの早期防除、栽培施設内への侵入防止に努めるとともに、発病株は見つけ次第抜き取りましょう。防除対策などについては、9月3日発表の「トマト黄化葉巻病情報第1号」を参考にしてください。

問い合わせ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室
TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-7820